

平戸市民の手で不法投棄の撲滅を

不法投棄の現状

今回は「不法投棄の現状」について考えてみましょう。
不法投棄とは、決められた場所（地区のごみステーションや処分場など）に廃棄せず、山林、川、海、空き地など、人目につかない場所などに、不法に廃棄することをいいます。

廃棄されているものの多くは、家電製品（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）や家庭ごみ、タイヤなどです。
不法投棄される原因として考えられることは、家電製品については処分費用がかかるため、回収業者などに渡さず、人目につかない場所に廃棄している可能性があります。また、他のごみについて



問 市民課生活環境班 ☎22-9121

も、捨てる場所が分からなかったり、費用がかかる場合があるため、不法に廃棄されているものと考えられます。
不法投棄は個人や地区の土地に廃棄されることが多いため、土地の管理者は、廃棄防止のため定期的な見回りをお願いします。
不法投棄は犯罪です。個人の場合、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金またはその両方が、事業所の場合、3億円以下の罰金が科せられる場合があります。
不法投棄や廃棄の現場を発見したらすぐに警察に通報してください。
自然破壊につながる不法投棄を平戸市民の手で撲滅しましょう。

高齢者の皆さんへ 自粛生活をみんなで乗り越えましょう

新型コロナウイルスの感染拡大で外出の自粛が続いており、高齢者の健康に深刻な影響が出る恐れがあります。感染拡大前と比較すると、高齢者の外出の機会は、全国的に20パーセント減少しているという調査報告もあります。

問 長寿介護課高齢者支援班 ☎22-9133

外出の機会が減少すると…

地域の交流の場・高齢者の集う機会、人とのつながりが激減

脳への刺激
が少ない

顔の筋肉
を使わない

体を
動かさない

電話での
会話も減る

食欲の低下

生活習慣病
リスク

筋力の低下



うつ

転倒・ケガ

認知症

低栄養(痩せ)

などの危険度が増加します！

体力や運動機能の低下による転倒・ケガだけではなく、外出が少なくなったことで、友人や地域の人とのコミュニケーションが減り、認知機能の低下や精神状態への影響も深刻になっています。

1日1回以上は誰かと会話しましょう

認知機能の低下を防ぐためにはできるだけ人と交流し、笑い声が出るような時間が重要です。マスクを着用し、距離をとった状態で、屋外や換気状態が良い場所でのあいさつや短時間の会話は感染しにくいと言われています。

外出が難しい場合は、少なくとも1日に1回、家族や近所の人など、誰かと電話をして、お互いに元気であるか確認したり、楽しく世間話をしたりするように心がけましょう。

電話やメール、手紙などの非対面での交流でも、うつや認知症などの予防に効果があると言われています。



会話をするときは距離をとって



電話でなら安心して大きな声で話せます

平戸とパコ

vol.3

国際交流員の日記

平戸で感じられる オランダ

現在、母国のオランダから遠くに住んでいるのに、普段の生活でオランダを感じる時が意外とよくあります。オランダ商館と、そこになびいている赤・白・青の国旗だけではなく、オランダ堀やオランダ井戸、市役所前のオランダ橋（幸福橋）などの平戸とオランダの海外貿易当時の深い交流の歴史を物語る建造物が多く残っています。

それから、自宅から平戸大橋まで散歩していた時、道端の「オランダ街道」と書いてある看板に気付きました。

この看板は、2000年の日蘭交流400周年の記念の年に、平戸市のオランダ商館から長崎市の出島を結ぶ経路を「オランダ街道」（11



1キロ）と命名し沿道に設置されたそうです。看板にはそれぞれの町までの距離が書いてあり、オランダ国旗の色になっています。
2000年、記念イベントとして大勢の参加者が、この街道を3日間歩く「オランダ街道スリー・デイ・ウォーク」というイベントが開催されたと聞きました。
それ以降20年以上の歳月が経ち、残念ながら「オランダ街道」のことを忘れていた人が多いような気がするのですが、今度僕も通ってみました！



国際交流員
パコ・セクレブ
(オランダ出身)